

## 事後評価調書

I 事業概要						
事業名	交通安全対策事業（歩道設置）					
地区名	一般県道 <small>おぐちなごやせん</small> 小口名古屋線					
事業箇所	<small>におぐんおおぐちちょうとつぼ</small> 丹羽郡大口町外坪地内					
事業のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本路線は、<small>おおぐちちょう</small> 大口町の中心部と <small>なごやし</small> 名古屋市の中心部を結ぶ路線であり、一般国道 41 号や 155 号を結ぶ地域幹線道路である。</li> <li>・当該区間は本路線を通過して国道へ流入する通過交通量が多いが、歩道未設置の区間が連続していることから、歩行者にとって危険な状況となっていた。</li> <li>・そのため、本事業で歩道を設置することにより、歩行者の安全を確保したものである。</li> </ul>					
事業目標	<b>【達成（主要）目標】</b> ① 歩行者の安全確保 <b>【副次目標】</b> -					
事業費	事業費		内訳			
	1.4 億円		■工事費 0.3 億円、■用補費 1.0 億円、■その他 0.1 億円			
事業期間	採択年度	平成 20 年度	着工年度	平成 20 年度	完成年度	平成 24 年度
事業内容	・歩道設置工 L=262m、W=2.5m					
II 評価						
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> ・歩道が設置されたことにより、歩行者と自動車の通行が分離され、安全に通行できるようになり危険な交通環境が改善された。 <b>【達成状況に対する評価】</b> ・本事業の整備により、歩行者が安全に通行できるようになり、目標は達成された。				
	2) 副次目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> - <b>【達成状況に対する評価】</b> -				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	・事業目標に対して目的を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	・事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	・標準的な事業計画、事業プロセス、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。					